(様式第3号)

## 企業・団体名(株式会社光洋設備)

## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

-							主な	SDGs	(17ゴール	169ع	ター	ゲッ	ト)関連項目	1		
カテゴ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合		1 2 3	4	5	6 7 8	9	10	11	12   13   14	15	16	17
ゴリ	アエック項目	レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	tient 2 100 a second	(EST)	<b>©</b>	<b>♥</b>	a marr	10 (2007) - (\$)	nace Ma	BITTL WITH	#6 terns <u>♣4</u>	16 two	****
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本			・公平な賃金規定を設けている。賞与支給時に経営者と従業員の二者面談を実施。 ・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、性別年齢を問わず差別しない体制を構築している。			5.1 5.2 5.5	8.8 8.8	7	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			・職場におけるあらゆるハラスメント禁止の旨を就業規則に明記している。			5.1 5.2 5.5	8.8 8.8						16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法第36条に基づく36協定を締結している。 ・「社員の子育て応援宣言」に登録し、毎週水曜日に ノー残業デーを設定している。				8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		・現在、外国人労働者は在籍していないが、雇用する 場合は労働環境を整備し受け入れる。		4.4		8.8		10.2 10.3					
5 人 権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・朝礼時に労働安全について社員へ注意喚起を行って いる。講習会等の安全に関する内容を全社員に周知・ 共有している。 ・安全大会への参加を全社員実施している。	3			8							
· 労 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・慰労会、暑気払い、忘年会、社員旅行などを実施し、 社員同士の親睦を深め、コミュニケーションの醸成を図 る。 ・経営者との定期的な面談を実施し、悩みの共有や心 のケアに取り組んでいる。	3										
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			・「社員の子育て応援宣言」へ登録し、仕事と家庭の両立を目指している。 ・定年退職後の再雇用制度など、高齢者が働きやすい 労働環境の整備を行い就業規則に明記している。			5.1 5.5	3.8	5	10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・業務に必要な国家資格取得や講習受講を奨励し、 積極的に取り組んでいる。毎月資格手当の支給あり。		4	5.5	8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・状況に合わせて就業規則、賃金規則の見直しを行っている。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証の取得を目指す。			5.5	8.8	5	10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・協会けんぼ長野支部の「健康づくリチャレンジ宣言」に参加している ・毎年全従業員が人間ドックを受診し、要検査者には100%再検査 を実施。 ・3年毎に脳ドックを受診している。※2024年4月実施	3			8							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の分別を徹底し、マニフェスト管理(廃棄物の分別及び適切な処理)を実施している。							11.6	12.4	1		
12 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・水道使用量、電気利用料を月別に把握している。				7.3				13			
境 13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・社屋のエアコンを更新し、設定温度の管理を徹底、休憩時間の消灯、温室効果ガスの排出量を削減している。				7.2 7.3				12.4 13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			・法令等の周知徹底を行い、適切に対応できるようにする。	3.9		6	6.3			11.6	12.4			

カテゴ					1	<b>=</b> 11 44 4: <b>=</b> 4 <b>=</b>			主なSDG	is (1	7ゴール	<u> </u>	ターケ	・ット)	関連	項目		
	<del>-</del>	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合		1	2	3 4 5	6	7 8	9	10	11 12	13	14	15 16	17
	ゴリ	7.エラク 祭日	レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	174 21648	z: 	3 5000 →√• 4 700 m 5 100 m g d d	8 MADE:	· mi	S SECTOR	10:000**	<b>1</b> € € € € € € € € € € € € € € € € € € €	B1717.	M tit	15 1277	V Sale
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・廃棄物の適正な処理により、生物多様性保全に配慮している。 ・切削油や燃料が漏洩しないように対策をしている。				6.6							15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・ゴミの分別を行い、資源利用の削減、再利用を推進している。 ・在庫品を活用し、過剰に材料を購入しないよう努めている。								12.5		14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	・雨水タンクを導入し、雑用水利用を検討している。				6.4 6.6								
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ		【予定】	・今後エコアクション21の取得を検討している。			3.9	6	7			12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			・SDGS推進企業制度にて、取り組み情報と結果を開示 している。	ŧ							12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	・太陽光発電及び蓄電池の導入を検討している。					7.2				13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			・PEFC認証のコピー用紙を購入している。社内利用の書類は裏紙を利用し、詰め替えできる文具を使用している。								12.2	13	14	15	
22		<ul><li>【汚職・贈収賄防止】</li><li>・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している</li></ul>	基本			・汚職・贈収賄の禁止について教育、周知徹底している。												
23		<ul><li>【公正な競争】</li><li>・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している</li></ul>	基本			·不透明·不公平な取引に関与しないよう、第三者視点から考え行動している。											16	i
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・情報セキュリティー環境を整え、知的財産の管理・保護に努めている。					8.2 8.3	9						
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・就業規則に「情報保護」を明記し、個人情報の取り扱いについて周知徹底を行っている。 ・各担当者が厳重に管理・保管を行っている。											16	i
26	慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			・紛争鉱物の取り扱いは無い。											16	i
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			・朝礼時に経営者より従業員に対して周知徹底を行っている。			5		8		10	12	13	14	15 16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3		8	9	10					17

								EなSDG	is (17	7ゴール と	169	ターケ	・ット)	関連	項目		
	チェック項目	取組	【非該当】	【予定】の 場合 (U	具体的な取組	1 2				7 8						15 16	17
	デェック·項目	レベル	の場合 選択入力		限などの取得認証があれば、併せて記載) 該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	174 544	3 smat. →√4•	1	<b>₩</b>	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	s marer De	10:050°	1 CX	B POTAL	Matt**	15 mm 18 mm 👱	v sake ®
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本		取り組ん	ファースト思考で施工、アフターメンテナンスに いている。 射に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施し		3.9						12	.4			
製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本		み を構築し ・安定し	からのクレーム対応など、品質を保証する仕組 ている。 た質の高い工事を誰でも行えるよう、施工担当 の技術共有を行っている。						9						
31 ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ		·省エネ いる。	や環境に配慮した製品を取り入れる検討をして				6				1:	2 13	14	15	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ			「理アプリを導入し、情報共有、情報の蓄積を 客様のニーズに応え、万が一の際に情報提供を	1 2	3	4 5	6	7 8	9	10	11 1:	2 13	14	15 16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本		設のの代	・・民間施設など、地域の大勢の方が関わる施 呆守・点検や修理に正確迅速に対応する。 情報開示を行い、開けた経営を行っている。			4			9		11 1:	2	14	15	17
地域貢献。		チャレン ジ			カニ被災地域に寄付を行っている。 ホロードクリーン作戦に参加している。			4					11		14	15	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレン ジ		·地域内	R業者と協力することを前提としている。					8	9		11 1:	2 13			
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本		·経営者	B念を明文化している。 が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を 说明し、共有している					8	9						17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			守や作業前など、法令順守(コンプライアンス)の を全従業員に向けて発信・共有している。											16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			ぎをトップに現場担当の責任者が対応できる体 っている。											16	
織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本		前打ち台	可の発注者及び地元関係者、下請会社との事合わせ、説明会等により情報の共有と意見交替を行っている。											16	17
40 制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン ジ			守や経営者との面談時に社内外のリスクについ 、対策を行っている。											16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。	チャレン ジ		【予定】 CSRの活	舌動方針を策定する。											16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ		【予定】 災害発生	生時等を想定した事業継続計画を策定する。						9		11	13 13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ			ページに求人案内を掲載し継続的な人材を採 成を行い後継者を育てる。					8	9						17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12 1	13 14	1 15	16 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
  (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定